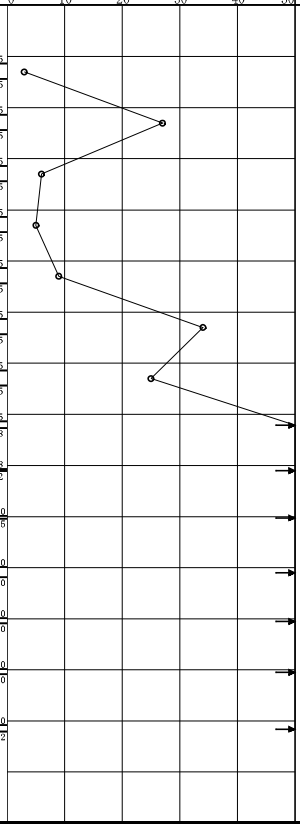
岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　災関砂防鯉の浦隣2測量調査設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-4	**調査位置**	広島県呉市　呉市所管内	**北緯**	34° 09′ 5.1860″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	**調査期間**	2019年 3月 11日 ～ 2019年 3月 14日	**東経**	132° 29′ 51.2109″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**	**コア鑑定者** / **ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 33.23m	**角度**	180° 上下 0° 90°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	15.00m	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機** KR-SH / **エンジン** NFAD8 MS172EAM / **ポンプ** 丸山

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1				砂質粘土	茶褐～暗茶							(100)		主に砂質粘土。細礫および φ20～40mmの礫を混入する。GL-2m以深含水多い。GL-3.5～4.0mにて粘土質砂。GL-0.6mにて缶飲料のプルタブを混入。GL-5.0m以深にて粗砂が多く混入する。	03/12 03/13 4.70	3 300 1.15 1.45				100						
2												(100)				27 300 2.15 2.45											
3												(100)				6 300 3.15 3.45				200	86/B2	φ66メタル	20.0	60	0.0	W1/0	0
4												(100)				5 300 4.15 4.45			3/11								
5	27.53	5.70										(100)				9 300 5.15 5.45											
6				砂礫	灰褐							(100)		φ2～40mm角礫～亜角礫主体。礫種は花崗岩、砂岩、泥岩など。基質は砂。φ2～3mmの石英粒子を多く含む。		34 300 6.15 6.45											
7												(100)				25 300 7.15 7.45				150							
8	25.23	8.00		花崗岩	灰褐	δ~ε		E	V~VI	c~d	DH	(100)		強風化花崗岩。岩石組織は残すが指圧で岩片状となる。		50 130 8.15 8.28											
9	23.93	9.30										(100)				50 40 9.08 9.12											
10					褐灰	w4		D	IV	c		(100)		短柱状～柱状のコアとして採取されるが岩片は脆く指圧で潜在亀裂が分離または新たな亀裂ができて岩片状～礫状化する。雲母が緑泥石化、長石は白濁化する。鉱物間結合力弱く分離し易い。		50 50 10.00 10.05			3/12			φ66DB	10.0	160	0.1	W2/2	2
11												(100)				50 200 11.00 11.20				100							
12												(100)				50 100 12.00 12.10				67							
13	19.83	13.40										(100)				50 100 13.00 13.10											
14					褐灰	w4		D~E	V~IV	c		10 [10] (100)		岩片状～砂状コア。全体に褐色を帯び砂～岩片状となる。一部短柱状。		50 120 14.10 14.22				100							
15	18.53	14.70			褐灰	w3		C	III	c	CL			岩片が硬質となり短柱状を呈する。					3/13	150							
	18.23	15.00